

**近畿地方交通審議会
近畿船員部会議事録**

第170回

令和4年11月24日

日 時 令和4年11月24日（木） 16時30分から

場 所 近畿運輸局 会議室（船員部会室）

出席者 公益委員 横見委員、定岡委員、万谷委員、三輪委員

労働者委員 浦委員、佐藤委員、井上委員

使用者委員 磯合委員、土屋委員、開委員

運 輸 局 大谷海事振興部長、村上海事振興部次長
平田船員労政課長、水谷船員労政課専門官、
竹内船員労働環境・海技資格課長

議題 1. 管内の雇用等の状況について

議題 2. その他

議 事 概 要

横見部会長：

それでは、ただ今から第170回近畿船員部会を開催いたします。

あらかじめお配りしております「第169回船員部会」の議事録につきまして、ご承認願いたいと思います。ご異議ございませんか。

(異議なし)

横見部会長：

無いようですので、ご承認をいただいたものとして取り扱わせていただきます。

それでは、議題1の「管内の雇用等の状況」について、運輸局からご説明をお願いいたします。

平田船員労政課長：

それでは「令和4年10月分管内雇用状況」につきまして、ご説明させていただきます。

1. 職業紹介状況

①求人関係

新規求人数は、131人（前月比+102人、351.7%の減、前年同月比：+78人、147.2%の増）となっています。

月間有効求人数は、212人（前月比+5人、2.4%の増、前年同月比：+40人、23.3%の増）となっています。

②求職関係

新規求職者数は、23人（前月比+16人、228.6%の増、前年同月比：+16人、228.6%の増）となっています。

月間有効求職者数は、42人（前月比+12人、40.0%の増、前年同月比+2人、5.0%の増）となっています。

③成立状況

当月の成立数は、3人（前月比：+2人、200.0%の増、前年同月比：+2人、200.0%の増）となっています。

④職員・部員別成立者内訳

職種別の内訳は、甲板部職員1人、機関部職員1人、甲板部部員1人、機関部部員0人、事務部部員0人となっています。

年齢別については、10歳代0人、20歳代0人、30歳代0人、40歳代0人、50歳代0人、60歳代2人、70歳代1人となっています。

2. 新規求人・求職者の取扱実績

①職種別内訳

新規求人の職種別内訳は、職員103人（甲板部60人、機関部43人、無線部0人、事務部0人）、部員28人（甲板部22人、機関部5人、無線部0人、事務部1人）となっています。

新規求職の職種別内訳は、職員12人（甲板部8人、機関部3人、無線部1人、事務部0人）、部員11人（甲板部10人、機関部0人、無線部0人、事務部1人）となっています。

②新規求職者の退職理由

内訳は、船舶所有者の都合が5人、定年退職0人、雇用期間満了0人、本人の申し出8人、自己の健康0人、倒産0人、就労中6人、不明4人となっています。

③新規求職者の年齢別

30歳未満3人、30歳代2人、40歳代6人、50歳代7人、60歳以上5人となっています。50歳以上は12人で占める割合は52.2%、30歳未満は3人で占める割合は13.0%です。

3. 失業等給付金支給状況

受給資格者数は16人で、基本手当の支払実人数は4人、給付件数は4件となっています。給付金額は491,546円です。前月は3人、3件の226,268円でした。

それから、高年齢求職者給付金が0件0円、再就職手当が0件0円、就業促進定着手当が0件0円によって、当月支給額計は、491,546円となります。

4. 月間有効求人倍率の推移

10月の近畿船員は5.05倍で、前月比-1.85ポイント、前年同月比、+0.75ポイントとなっています。

5. 近畿運輸局、月間有効求人・求職状況

①月間有効求人は212人で、このうち、新規求人者数は131人となっています。

当局の紹介による求人側の成立は3人、他局成立は2名でございました。求人の取り消しは0人で、理由の内訳は有効期限切れ54人、自己応募・縁故により採用7人、会社都合により取り下げ4人、その他は0人となっています。

②月間有効求職者は42人で、前月との差は+12人でした。

当局の紹介による求職側の成立は0人、他局成立は2人でした。求職の取り消しは9人で、理由の内訳は期限切れ7人、自己応募・縁故により採用1人、自己都合により取り下げ1人、その他0人となっています。

6. 全国運輸局別の有効求人、有効求職、成立数、有効求人倍率

①9月の全国の月間有効求人数は、3,026人で、前月比100.

0%、前年同月比は108.2%となり、229人増加しています。

②9月の全国の月間有効求職数は、838人で、前月比98.9%、前年同月比94.9%となり、45.0人減少しています。

③ 9月の全国の成立数は、64人で、前月比95.5%、前年同月比では76.2%となり、20人減少しています。

④ 9月の全国船員の有効求人倍率は季節調整値により3.68倍となっています。9月の全国陸上は季節調整値により1.34倍となっています。

以上が管内の雇用等の状況でございます。

横見部会長：

ご説明ありがとうございます。

資料1、2、3について何かご質問等ございますでしょうか。

井上委員：

まず、資料1のところで、10月の雇用情勢ということで、新規求人が1131ということで、前月と比較しても4.5倍と、大分たくさんの求人が出ているというふうに見てとれるのですが、これだけ増えている理由というのは運輸局のほうで何か把握されてるのかというまず質問と、あと少し教えてほしいところで、資料2の最後の9ページの海技免状のところなんですけど、求職者ですね、この丸が2つついてるのは何なのかなと思ってですね。以上2点、お願いします。

平田船員労政課長：

それでは、1点目、資料1、1ページの新規求人が131と、かなり数字が大きいことについてですが、以前の部会でもご説明をさせていただきましたが、新規求人の有効期限は提出日の翌々月末までのため、9月末となります。9月の期限切れの求人が123ございましたので、概ねその期限切れの再申請によるものが大きく占めております。そこの部分でかなり数字が対前月では伸びていると考えるところです。

2点目、資料2の9ページ、海技免状欄の丸印、4年8月29日申請の方ですと、6N〇とありますが、この丸印の意味ということでよろしいでしょうか。

井上委員：

はい。

平田船員労政課長：

海技免状を甲板、機関の両方お持ちの方という意味ものになります。資料としてはそういう風に、整理をさせていただいてるところです。

井上委員：

例えばこの6 N〇でいけば6 Eも持ってるよと。

平田船員労政課長：

そうです。

井上委員：

5級とか4級とかじゃなくて、もう一個も持ってるという理解ですね。

平田船員労政課長：

はい。

井上委員：

分かりました。

それと、1個目の質問は、2ページ目の求人推移のところ、4月で136あって、下がって、2か月後にまた大きく上がってるというのは、期限が切れて再提出してるからということなんですか。

平田船員労政課長：

はい。それが大部分を占めているというところなんです。

開委員：

これ、令和4年の4月から急に増えてますよね。何か理由があるんですか。

平田船員労政課長：

以前の部会でも説明させていただきましたが、求人票の様式が変わりまして、その様式変更があったということを事業者さんに案内をさせていただきました。それによる反響によりまして一気に求人票提出が増えたというのが、この4月、新規で増えた要因というふうに考えております。

土屋委員：

すみません。今の話は3か月というのが、提出から3か月間ではなくて、例えば（4月から）6月末に更新はされないで期限が切れると言うシステムになっているので、例えば今年の10月は9月末に期限が切れたのが一斉に再提出されている、という理解でよろしいですか。

平田船員労政課長：

そうです。期限は提出のあった月の翌々月末までとなっております。

土屋委員：

出してから3か月とはそういうことなんですね。そうすると、令和4年の4月の山が3か月置きに7月、10月と恐らくかなりの分、持ち越されるのではないかと、そういう見方でよろしいですか。

平田船員労政課長：

はい。切れた時点でまた出されてるというところですよ。

土屋委員：

はい。ありがとうございます。

横見部会長：

ほか、よろしいでしょうか。

佐藤委員：

資料2の9ページなのですが、有効求職者ということで、賃金という欄ですが、これは基本給の金額という理解でよろしいんですか。

平田船員労政課長：

ご本人様の希望の手取り額です。

佐藤委員：

手取り額になるんですか。

平田船員労政課長：

はい。

佐藤委員：

マグロ漁船を希望される方の希望手取額は、税金等控除されて最賃賃金に近い金額を希望されております。最低賃金が19万9,300円ですよというのは、本人の希望とはいえども教えてあげる必要があると思います。

平田船員労政課長：

求職票には手取り額を記入するようになっています。必ずしも最低賃金額を下回るとは限りませんが、今のご意見、窓口では気をつけるように指導していきたいとは思っています。

佐藤委員：

あと、資料2の3ページのところのリクレーマ船って、どういうものなんですか。初めて聞く船種なので教えて下さい。

平田船員労政課長：

作業船。埋立て等の作業現場において、土運船からの土砂を揚土措置に揚げ荷をするコンベヤーなどが設備されている作業船と思われます。

佐藤委員：

それも船員法になるんですか。

村上海事振興部次長：

船員法適用というのは別として、一体型プッシャー・バージって少し法逃れの的などころがあって、海上での建築作業をやっておられる方が台船にプッシャーをひっつけてるような形です。扱いは内航船と同じなので、航行区域によっては船員法適用になります。実態としては、結局、港外も出ますが作業は港内のみだと現場では適用がどうかは分かりません。和歌山港とか舞鶴港で港湾作業があったときに訪船した際に、船員手帳持ってますかと聞いてみたら、この船は適用してないと向こうの方が詳しく教えてください。作業船の場合船員法適用は申請によるところが実情です。

19トンのプッシャー船でブリッジだけ背の高いところあって前見えるような構造になっていて運航されてるのが多いという認識です。

佐藤委員：

ありがとうございました。

横見部会長：

ほかいかがでしょうか。

土屋委員：

すみません。少し前の資料を見れば良いのですが、船員さん不足と言われて長いですが、何かもう少し長い、ここ5年なら5年ぐらいで見て、有効求人倍率の推移というのをどこかで見られますか。

平田船員労政課長：

資料1の4ページに1年分がついております。例えば次回の部会にて、このグラフの5年間分を準備させていただくことではいかがでしょうか。毎月、必要でしょうか。

土屋委員：

毎月は要らないです。

平田船員労政課長：

次回、準備できればと思います。

土屋委員：

逆に、僕らもお客様に、これだけ人が足りないですよという資料にも使えるのかなとふと思ったものですから、もしあれば教えていただければと思います。

横見部会長：

ほかいかがでしょうか。

定岡委員：

資料2の9ページの女性の求職者さん、この赤色の方は経験者なんですよね。

平田船員労政課長：

経験者でございます。

定岡委員：

旅客船ということですけど、現在は、希望が旅客船ということですが、具体的にどんなお仕事をされていますか。

平田船員労政課長：

現在は、川船のクルーズ船に乗られているようです。具体的なところというのはいちよつと分かりかねますが、そこから労働条件の良いところを探したいということで来られたようです。

定岡委員：

少しお仕事の実態が分からないんですが、今まで女性の方って全然おられなくて、今日の言い方でいったらジェンダーのステレオタイプのところからいくと、男性のお仕事のところに入っていきこうとされてる方なのか、あるいは例えば旅客船とかなんかだったらフェリーのアナウンスとかやったりすると、そういう仕事もここに入ってきたりするんですか。いわゆる女の人の仕事みたいな感じで。

平田船員労政課長：

フェリーのサービス業の方々も船員法適用であればここに入ってきます。

定岡委員：

どんなお仕事探しておられるんでしょうね。

平田船員労政課長：

今回の方は甲板員を希望されて求職に来られていますが、現在は川船のクルーズ船で船長をされてると聞いています。

定岡委員：

何か、お手洗いであるとか、泊まるような航路ってひよつとしたらないのかもしれないけど、そういうのって働きやすい職場なのかなというのが気になったりします。

開委員：

フェリーとか旅客船とか、結構女性の乗組員がたくさん乗ってる船はありまして、そこは女性の居住区画が別途ありますので、トイレとかお風呂も全

部別である船もありますし、最近は普通の貨物船でも結構、女性というか、部屋がそれぞれ、部屋にトイレとバスルームがついてる船も増えてきてると思います。

定岡委員：

ありがとうございます。

横見部会長：

ちなみに観光船でアナウンスの仕事してるような方も甲板員ということになるんですか。

平田船員労政課長：

事務部という整理になるかと思います。

横見部会長：

甲板員というと、職員じゃないわけですか。

平田船員労政課長：

職員ではないですけども、運航のほうの要員にはなります。

横見部会長：

その他いかがでしょうか。無いようですので、それでは、次に議題2の「その他」に入ります。

運輸局の方から説明をお願いします。

村上海事振興部次長：

資料4を説明申し上げます。

まず、9月分の内航海運の輸送動向調査の概要ですが、貨物船と油送船を合計した輸送量は前年同月比95%となっております。自動車と黒油以外の品目は全て減少となっております。

前年同月比割れの主な原因は台風 11, 12, 14, 15号の影響による輸送障害のため。

9月の貨物船の輸送量は、前年同月比98%、前月比98%となっています。

鉄鋼については、前年同月比で84%。荷動きが低調である中、台風の影響を受けたようです。自動車の供給制約の影響等による出荷の減少が続いていますが、やや持ち直しが見られるとあります。

自動車は対前年同月比143%で自動車部品の欠品から回復しつつあるが、前年同月水準が低かったため反動による増加と冷静な見方をしています。

油送船の概要

9月の油送船輸送量は前年同月比93%、前月比で88%となっています。黒油は前年同月比104%、製油所間転送、石油火力発電所向けの輸送が堅調であったようです。

白油は、前年同月比92%、移動自粛の緩和から航空燃料需要が増加したほか、冬季に向けた灯油の備蓄輸送も堅調であった一方で、台風による船舶の避難が減少の原因となったようです。

それでは3ページ以降、貨物ごとの状況です。9月の欄と対前月の欄をご覧ください。

鉄鋼ですが、前年同月比で83.7%、前月比では93.1%

原料は、前年同月比で88.0%、前月比では86.8%

燃料は、前年同月比で84.4%、前月比では87.5%

紙・パルプは、前年同月比で92.5%、前月比では93.9%

雑貨は、前年同月比で97.1%、前月比では94.4%

自動車は、前年同月比で142.5%、前月比では130.8%

セメントは、前年同月比で93.1%、前月比では91.7%

貨物船全体の輸送量は、1,616万0千トンで前年同月比で97.8%、前月比では97.8%となっています。

次のページをご覧ください。タンカーの状況です。

黒油は、前年同月比で104.1%、前月比では88.4%

白油は、前年同月比で91.6%、前月比では86.8%
ケミカルは、前年同月比で84.4%、前月比では87.8%
一般タンカーの輸送量は、705万7千トンで前年同月比で94.3%、
前月比では87.2%となっています。

続きまして、

高压液化は、前年同月比で80.4%、前月比では91.7%
高温液体は、前年同月比で82.2%、前月比では84.7%
耐腐食は、前年同月比で86.9%、前月比では91.1%
特タン船の輸送量は、91万3千トンで前年同月比で83.2%、前月比
では90.8%となっており、全てのタンカーの合計は、797万0千トン
で前年同月比で92.8%、前月比では87.6%となっています。

次に資料5、長距離フェリーの令和4年9月の輸送実績でございます。

9月の欄と、右のほうの対前月、対前年同月比のところをご覧ください。

まずトラックですが、

北海道は、15,507台で、前月比100.3%、前年同月比で97.6%
北九州は、31,215台で、前月比99.9%、前年同月比で103.1%
中九州は、9,382台で、前月比110.1%、前年同月比で97.1%
南九州は、8,959台で、前月比92.8%、前年同月比で99.4%
となっています。

次のページ、旅客でございます。

北海道は、14,767人で、前月比63.0%、前年同月比で149.0%
北九州は、48,782人で、前月比58.8%、前年同月比で158.5%
中九州は、17,951人で、前月比67.6%、前年同月比で142.2%
南九州は、13,943人で、前月比52.2%、前年同月比で133.0%
となっています。

次のページ、乗用車でございます。

北海道は、5,350台で、前月比76.0%、前年同月比で185.4%
北九州は、19,243台で、前月比69.2%、前年同月比で138.3%

中九州は、3,025台で、前月比56.4%、前年同月比で131.5%
南九州は、5,282台で、前月比63.0%、前年同月比で136.1%
となっています。

9月の旅客と乗用車は対前月比60%前後で大きく下回っておりますが、
8月の夏休み期間中との比較でやむを得ないところもありますが、台風14
号に伴う欠航の影響もありました。

旅客、乗用車は対前月比で減少していますが、トラックは対前月比と同水準
であり、コロナ前の実績に戻っているのが改めて認識出来るかと思えます。

私からの説明は以上でございます。

横見部会長：

ありがとうございました。

それでは、資料4、5について何かご質問等ございますでしょうか。

横見部会長：

それでは続きまして、船員政策や船員労働全般に関わる様々な問題につ
きまして、ご意見情報等ございましたらご発言をいただきたいと思えます。

労働者委員の方からいかがでしょう。

横見部会長：

それでは、次に船員政策や船員労働全般に関わる様々な問題につ
きまして、ご意見や情報等ございましたらご発言をお願いいたします。

では、まず労働者委員のほうから何かございますでしょうか。

佐藤委員：

11月16日に和歌山県白浜町のほうで体験乗船会と出前講座を開催いた
しました。

当日につきましては、海事振興部からご出席いただきましてありがとうご
ざいました。村上海事振興部次長と平田船員労政課長、ありがとうございま

した。当日は天候にも恵まれまして、非常にいい企画だったのではないかなというふうに思ってます。こういった活動が将来、子供たちにとって船員職業が選択肢の一つとなり、一人でも二人でも船員になることを願っております。

あと、午後からの出前講座のほうでは、現役の船員からの、船や貿易に関するクイズなどを行いながら開催したんですが、子供たちは興味持って、船、海を身近に感じたというところで、非常によかったのではないかなというところでもありますので、ご報告させていただきます。

横見部会長：

ありがとうございます。

横見部会長：

それでは本日の部会は終了いたします。

次回は12月22日（木）16時30分からとなっておりますので、皆様よろしく願いいたします。

（配付資料）

資料1．令和4年10月分 近畿運輸局管内船員職業紹介実績表

資料2．令和4年10月分 月間有効求人・求職状況（近畿管内）

資料3．令和4年9月分 局別月間有効求人数（商漁船・職部員別）等

資料4．内航輸送実績状況（令和4年9月分まで）

資料5．長距離フェリー輸送実績の推移（令和4年9月まで）